

いつの間にか秋も過ぎ「寒い」と声に出してしまおう、そんな季節になっておりました。来月は師走、家々で師（僧）を迎えて読経などを行うため、師が東西に忙しく走り回ることからこのように呼ばれるようになったようです。

師でも僧でもない私でも年末年始に向け慌しく時間が過ぎてゆきます。私だけではなく皆様も同じことでしょう、年末ならではの忙しさを、まさに走り回って過ぎてゆく十二月（師走）という感じですね。

さてさて、予定表を見るだけで既に気持ちが悪くなってしまうってありますが、しなければいけない事はしっかりとやります。なかでも年末にやらなければいけない事、それはやはり「大掃除」でしょう。

ご家庭以外でも学校や会社で行うのではないのでしょうか。

この「年末大掃除」というものは日本だけの文化のようです。几帳面な日本人ならではの気がします。

「今年の汚れ今年のうちに」と言うように1年の汚れをキレイにし、新年はリフレッシュして新たにスタートさせたいですね。

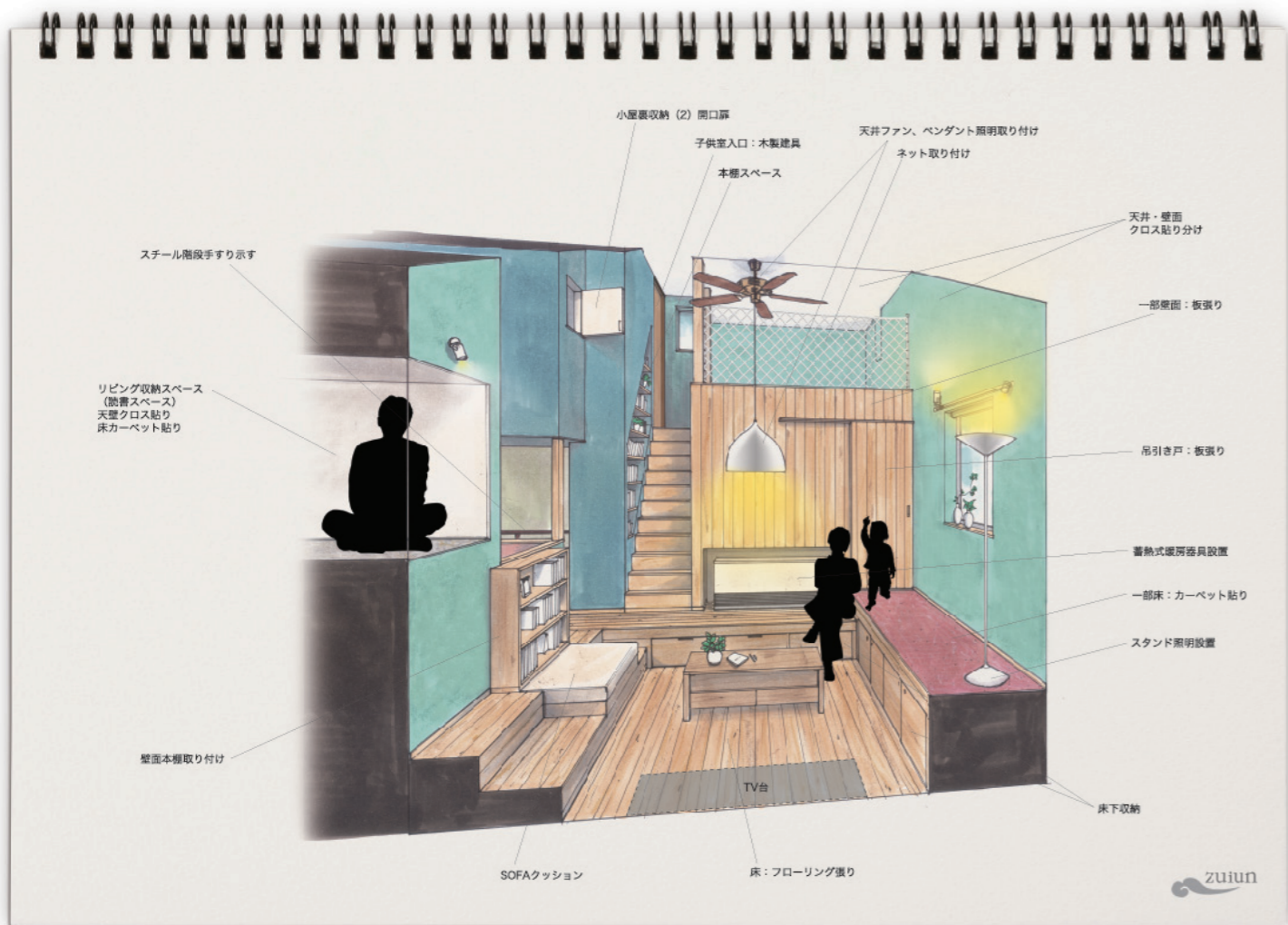
今回のZUIUN便りは大掃除も近いということではまいの「お手入れ方法」について書いてみたいと思います。

—その前に、なぜお手入れが必要なのか、

ZUIUNで扱っている家具や住宅の多くには、素材そのままの持ち味を生かした無垢材を使用しています。それはお客様との生活をともにし、だんだんと風合いを重ねて完成へと近づいてゆく「味わい」を楽しんで貰いたいから。これは量産された工業製品では味わえない楽しみではないでしょうか。

また、こういった無垢材などの自然素材は手入れをすればこそ味わい深く変化しますが、逆に手入れをしないと持ちが悪くなってしまいます。なるべく長くいつまでも使って頂きたい、それは皆様も同じ思いでしょう。その為にはお手入れが不可欠となるのです。

—一口にお手入れと言いますが一体何をすればよいのでしょうか？
家具やフローリングなどの無垢材にとって『水気』は大敵です。床



家＝家具＝家族

ZUIUN便り Vol.19



に落ちた水滴もそのまま拭かないで置いておきますと「しみ」になってしまいますし、水気の多い場所で使用される場合は、きちんと換気をしてあげて下さい。

また、皆様ご存知の通り冬は乾燥します。湿度が20%くらいの日もあるようです。屋外でそんな湿度だったら、部屋の中では暖房が効いていますので、さらに乾燥状態なんてこともあり得ます。

お肌もカサカサで、唇のヒビ割れ、指のさかむけ・・・リップを塗ったり、クリームを塗ったり・・・なんていう方も多いのではないのでしょうか。

無垢材もお肌と一緒に乾燥には弱いのです。それは無垢の木は部屋の湿度をコントロールしてくれていて、湿度が高くジメジメしている空間では、無垢の木は湿気を吸ってくれます。つまりは除湿器の役をたしていています。

一方、冬のように乾燥していると、無垢の木は自らの中にある水分を空気中に出してくれます。これは、言ってみれば加湿器です。

このように無垢材は人間が快適に感じるよう湿度を調節してくれます。しかし、木は水分を出すことで体積が小さくなり、水分を取り込むと体積が大きくなります。乾燥した室内の場合、木が自らの水分をどんどん外に出します。体積が小さくなり、反りなどが出るのであります。

家具であれば家具用のオイルをこまめに塗り、フローリングにはフローリング用のオイルを塗ってあげて、乾燥から防ぎ、温かく見守ってあげましょう。

人間のお肌と一緒にです。

昔は、現在のワックスの代わりとして、米ぬかを絹などのやわらかい布で包んだもので拭いて、お手入れをしていたそうです。米ぬかの脂分を天然のワックスとして使っていたのです。

昔の人も、きちんと手入れをしていたということですね。「面倒くさい」と背中合わせのこの「お手入れ」が物の「持ち」を格段によくするのであります。

大事にお手入れをするということは、木と共に生きていくということです。それにより無垢材はより美しく、より長く付き合ってください。皆様もきちんとお手入れをしてあげて下さい。

家具から始まる家づくり。

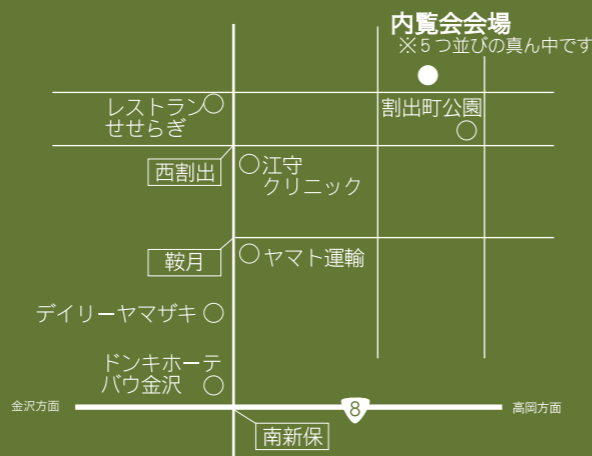
新築住宅 内覧会開催

VOL.15

11/26 sat open 10:00
27 sun close 18:00

※混雑時予約制

金沢市割出



※道に迷われた方は下記の番号へお電話下さい

tel.076-213-5505
www.zuiun.jp

zuiun 建築設計事務所

